

地球

昭和四年十二月 第七拾貳卷

寫真測量及寫真製圖の歴史	4	高木菊三郎	三六五
石見鵜の鼻の特殊安山岩に就て	4	園山市太郎	三六六
石見山間部に於ける豆灰	4	園山市太郎	三六二
簸川平野の築地	4	岡 義重	三六三
ナポリ灣周圍に於ける地形學的觀察	5	今村 學郎	三六四
駒ヶ岳爆發の機制	5	木間不二男	三六七
停滯期に於ける富營養湖の水素イオン濃度の垂直分布	6	宮地傳三郎	四〇四
曹達の新定量法	6	原口 九萬	四二三
多良嶽西麓地方の地理的景觀(一)	6	森 壽美衛	四三〇
南支那の交通	6	西龜 正夫	四三六
北歐の地學界	6	今村 學郎	四四〇
伊太利とところどころ	6	瀧川 規一	四七七
摘 録			
S. Fujiwara and T. Takayama: On the Mechanics of the Great Sagami Bay Earthquake on Sept. 1, 1923.	七		七
今西龍、泷水考	三六		三六
新 著 紹 介			
數理地理學	一		七四
人文地理學	一		一四一
世界地理行脚	一		一四六

我が殖民地	1
考古遊記	3
近畿地方地形圖	3
支那歴史地理研究續集	4
讀史叢錄	4
等高曲線白地圖及説明書	4
地質礦物學綱要	5
輓近礦物學	6
世界地理發見史	6
日本の自然と人文	6

新刊即報

昭和四年七月	1	七四
同 八月	2	一四七
同 九月	3	三三
同 十月	4	三〇一
同 十一月	5	三三七
同 十二月	6	四〇五

雜報

天地淵の瀑布	1	七
高粱稈から製紙	1	六
獨逸にて發明された不燃燒紙	1	六
ホルネオ近海に於ける鱈の大規模漁獲計畫	1	七

トランスバールの金鑛業	1	七九
ハンブルグ港の繁榮	1	九
イタリーの工業保護	1	八〇
アリヤトモンゴル自治共和國	1	八一
愛知地理學會報告	2	一五
大分師範の夏期講習會	2	一四
ロシヤ國向支那茶	2	一四
一九二八年日英貿易の一部	2	一五
獨逸と日本との貿易	2	一五
南阿の滿俺鑛開發	2	一六
英印間定期航空路開始	2	一七
瓜哇のタバコ	2	一七
中村、松山兩教授嶺山助教授歸任	2	一八
英領馬來の椰子油	3	三三
伊國の經濟復興	3	三四
アルゲエリヤの發展	3	三四
日本と波斯	3	三五
世界の自動車數	3	三五
ベルシヤの定期航空路	3	三六
鈴鹿の筆捨山	4	三〇
支那の茶種	4	三〇
航空機による米大陸橫斷旅客輸送	4	三一
バルホア及クリストバル間航空輸送	4	三一

地球學團々員名簿

昭和四年十一月末日現在

四七三
次頁

英國に於ける本邦豌豆其他色豆	4	三二
米國の石油	4	三二
人造絹糸輸入倍増	4	三三
國際圖書	4	三三
北海道駒ヶ岳見聞記事中の正誤	4	三三
羽後象潟と羽前吹浦	5	三九四
朝鮮哺乳類化石目錄	5	三九五
故山崎博士歐文著述目錄	5	三九五
日本生物地理學會と其機關雜誌	6	四六四
重慶宜昌間航業狀況	6	四六五
ビルマの天産物と其輸出	6	四六六
米國の繁榮の原因	6	四六六
イラクの經濟と其交通狀況	6	四六八
最近に於ける世界海運界の狀況	6	四六九
スタインマン博士の計	6	四七一
鋼に珪素の擴散	6	四七一

質疑應答

イタリーの人口と生産業の現状	1	八一
分岐と連鎖	2	一五六
ドネーブル河下流の港	4	三四
シリアの經濟事情	6	四七三

地球

號一第 卷貳拾第

行發日一月七年四和昭

主要目次

圖版 第一版 濟州最大池淵の瀑布	理學博士 小川 琢 治
火山岩の季晶作用に就て	理學博士 小川 琢 治
耕地の性質及びその經營法(序論)	理學博士 小川 琢 治
戰爭の地理學的考察(四)	理學士 原口 九 萬 治
濟州島遊記(一)	神保 六 合 男
臺灣の氣候(二)	高野 豊 文
埴科郡下の條里	(イノチノド)
地質學の効能	小野 三 正
信濃中郡地圖に就て	瀧川 規 一
西游記(二)	
摘 錄	
新 著 即 報	
新 著 介 紹	
雜 質 疑 應 答	
地球第拾一卷總目錄	

京 都 帝 國 大 學 內
地 球 學 會

地球第拾一卷第一號 (昭和四年七月)

目次

圖版 第一版 濟州島天池淵の瀑布

火山岩の季晶作用に就て……………

耕地の性質及びその經營法(序論)……………

戰爭の地理學的考察(四)……………

濟州島遊記(一)……………

臺灣の氣候(二)……………

埴科郡下の條里(一)……………

地質學の効能……………

信濃中部地圖に就て……………

西遊夢錄(二二)……………

摘錄……………

○藤原、高山、關東地震發生の機巧について

○數理地理學

○新著紹介

○新著即報

○雜報

○天池淵の瀑布

○アピシニア國 Tsana 湖

理學博士 小川 琢治……………一

東木 龍七……………六

理學博士 小川 琢治……………一九

理學士 原口 九萬……………二五

神保 六合男……………四〇

高野 豊文……………四九

(アラッドレー)……………五〇

文學士 小野 三正……………五九

瀧川 規一……………六七

○高粱から製紙

○獨逸にて發明された不燃燒紙

○ホルネオ近海に於ける鱈の大規模漁獲計畫

○トランスバールの金鑛業

○ハンブルク港の繁榮

○イタリーの工業保護

○アリヤトモンゴル自治共和國

○イタリーの人口と生産業

○質疑應答

地球第拾一卷總目錄

地球學團規約

- 第一條 本學團は地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球學團に關する學術的研究を進め兼て同好の士の結合をはかるを目的とする。
- 第三條 本學團の事務所は京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 一 會員の募集
 二 會費の徴收
 三 會報の刊行
 四 雜誌の編輯
 五 講演會の開催
 六 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球學團として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりた人は、住所職業氏名を申込み、同時地球學團費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- ① 購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい。
- ② 本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下さい。
- ③ 郵券代用にての御註文は、一割増に願上候。
- ④ 振替貯金にての御註文は、(振替大阪七菱參參番、東京五貳六〇七番)博多成象堂に願上候。
- ⑤ 前金切替の場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下さい。
- ⑥ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下さい。

定價	一册	定價金五十錢	郵税金參錢
	六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
	十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受
	特大號定價	差額は別に申受候	

廣告料 一頁 金五十圓

昭和四年六月廿五日印刷納本(第拾二卷) 定價金五拾錢
 昭和四年七月一日發行(第一號)

許不製複
 載轉禁

發行所

編輯者 京都帝國大學 地球學團
 有代表者 藤田元春
 發行所 博多久吉
 印刷者 井下精一郎
 印刷所 井下書籍印刷所
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
 大阪市西區阿波羅中道二丁目四番地

博多成象堂
 電話特南壹七七七番

發賣所

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
 博多成象堂
 振替(東京五貳六〇七番、大阪七菱參參番)

所 捌 賣

(東京) 東京堂 東海堂 大東館
 (大阪) 北隆館 參文社
 (神戶) 盛文館 川瀨日進堂
 (京都) 寶文館 大盛社
 (名古屋) 共盛社 川瀨書店
 (名古屋) マガジン 星野書店

CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. XII, No. I.

July, 1929.

Plate I. Tenchien Falls in Quelpart Island.

On the Hystero-crystallization of the Effusive Rocks.	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	1
Nature of Arable Land and its Management.	
By R. Tōgi	6
Geographical Consideration on the War (4)	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	19
Account of the Journey to Quelpart Island.	
By K. Haraguchi, <i>R. S.</i>	25
On the Climate of Formosa Is. (2)	
By K. Zinbo	40
On the Ancient Arrangement of Arable Land in Hanishinagun, Shinano.	
By T. Takano	49
On the Effect of Geology (translated)	
By S. Taniguchi	54
On the Map of Shinano Province.	
By S. Ono	59
Life of the Highlanders in Scotland (22)	
By K. Takigawa, <i>B. S.</i>	67

Abstract—Newbooks—Geographical notes—Inquiries.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University.